

---

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第81号（通巻第148号）

---

2009年9月30日 発行  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

## ■ 平成21年度第2回教育臨床研究会のお知らせ

平成21年10月に第2回教育臨床研究会を下記のとおり開催の予定です。参加費無料、事前申し込みは不要です。ご関心のある方は、直接会場にお出かけください。

日時：平成21年10月29日（木）午前10時半～12時

講師：秋山香江先生（山梨県立中央高等学校教諭）

演題：「高等学校における特別支援教育」

場所：J号館5F多目的教室

## ■ 第7回学習システム研究会のご案内

このたびe-Learningコンテンツ作成関連について、アベイズム株式会社 (<http://www.abegroup.jp/>) のコンテンツ技術責任者から説明していただく機会をもうけました。事前申込なしで参加できますが、可能ならば以下まで申し込んでください。学生も参加できます。

- ・日時：2009年9月30日（水） 15:00～16:00
- ・場所：教育人間科学部附属教育実践総合センター 授業研究演習室（J422）
- ・テーマ：e-Learningを活用した学習支援について
- ・参加費：無料

---

### ●参加申し込み

- ・講習会<9月30日（水）>に参加します。

所属：

氏名：

e-mail：

※申し込みは、教育実践総合センター事務室 源（e-mail: [mchizuru@yamanashi.ac.jp](mailto:mchizuru@yamanashi.ac.jp)）へお願いします。

## ■ Moodle 講習会のご案内

このたび、以下のように、大学教育研究開発センター、総合情報戦略機構と共催で、Moodle 講習会を開催いたします。

Moodle (ムードル) とは、CMS (Course/Class Management System) または LMS (Learning Management System) のひとつです。Moodle サーバに教材や配布資料をおけば、学生はいつでもその資料をダウンロードできますし、Moodle の課題提出機能を使えば、学生がアップロードしたレポートを名簿順に見ていくことができ、レポートの評点やコメントを学生に伝えることができます。これ以外にも Moodle を使えば、小テストや、電子掲示板、授業関連データベース、授業関係の教材の提供・オンデマンド授業など e-Learning に関するさまざまな機能があります。また、Moodle を使うと、授業の記録や学生の提出物等がサーバに残りますので、JABEE (日本技術者教育認定機構) 再審査の際に煩雑な証拠書類を作る手間が省けます。この講習会は主に教員を対象としますが、会場に余裕がある場合には職員や学生も受講できます。会場の準備等がありますので、できるだけ事前に申し込んでください。

- ・日時：2009 年 10 月 8 日 (木) 16:30~18:00
- ・場所：第一実習室 (総合メディア館 2 階 情報処理教室)
- ・テーマ：Moodle 利用の第一歩
- ・主な内容 (予定)
  - ・Moodle 体験 (実習)
  - 「Moodle 操作の手引き」を見ながらコースを設定してみよう
  - 講師：吉川雅修氏 (工学部コンピュータ・メディア工学科)

●参加申し込みの方は以下に記入して、教育実践総合センター事務室  
源 (e-mail : mchizuru@yamanashi.ac.jp) へ送ってください。

- ・Moodle 講習会<10 月 8 日 (木)>に参加します。
- 所属：
- 氏名：
- e-mail：

---

この講習会の資料は、Moodle サーバに随時アップロードしますのでご覧ください。Moodle サーバには、以下のいずれかの方法でアクセスしてください。

- (1)YINS-CNS の「リンク」メニュー内の「E-learning」をクリック。次に表示される画面左の「2009 年」をクリック。
- (2)山梨大学総合情報戦略機構トップページ <http://sojo.yamanashi.ac.jp/> の左下の「e-Learning」ボタンをクリック。
- (3) <http://sojo.yamanashi.ac.jp/manual/moodle.html> から「ログイン画面へ」をクリック。

ユーザ名 (ID)、パスワード等を要求された場合には、統合メールや CNS、情報処理教室のログオン時に使用するものを入力してください。なお、学外からは Moodle サーバに通常の方法でアクセスすることはできませんが、VPN 接続してからだと学外からもアクセスできます。VPN 接続の方法については、総合情報戦略機構 Web の以下のページをご覧ください。

<http://sojo.yamanashi.ac.jp/manual/vpn.html>

サーバにログインした後は、「(20091008) Moodle 講習会」という名前のコースを検索して登録してください。登録に必要な登録キーは、教育実践総合センターの成田までお問い合わせください。

## ■ 「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」に関するお知らせ

相談スタッフを募集しています。未登録の先生方は、この機会に是非ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。新規登録をお考えの先生は、教育人間科学部附属教育実践総合センター谷口 (ataniguchi<あつとまーく>yamanashi.ac.jp) までご連絡くださいませ。ご継続いただける先生方の再登録手続きは不要ですが、相談日時等変更点がございましたら、ご連絡ください。

教育相談の実施報告については随時受け付けております。従来の報告書はご負担が大きかったかと存じますので、下記事項に関する情報をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。エクセルのフォーマットは添付ファイルでお送りしますので、谷口までどうぞお申しつけ下さいませ。

日付	方法	相談対象	学年	性別	相談者	相談内容
080401	訪問	〇〇小	小6	／	教師(研修担当)	国語科校内研修研究
080405	メール	××中	中3	女	教師	発達障害生徒への対応

ご不明な点がございましたら、センター事務室もしくは谷口までお尋ねください。

## ■ 第2回「教育相談室連絡協議会」のご報告 (山梨大学地域社会連携融合プロジェクト)

平成21年度第2回教育相談室連絡協議会を7月21日(火)16時半より教育相談室にて開催し、前期の相談状況、附属学校園への支援等について協議しました。附属学校園における相談ニーズの確認と今後の在り方についても意見交換が行われました。山梨県教育委員会及び山梨県教育四者と「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」につきましては、県内保護者の方を中心にご相談が寄せられています。次回は12月1日を予定しています。附属学校との連携や教育相談に関するご意見がございましたらセンターまでご遠慮なくお寄せください。

## ■ 平成21年度第2回期間採用者等研修のご報告

今年度2回目の期間採用者等研修を7月31日(金)に開きました。講師には、現在、指導的立場でご活躍中の小・中・高・特別支援学校の先生方や元管理職の先生方11名をお迎えし、校種別に教科や生徒指導等に関して1日研修を実施しました。当日は期間採用や非常勤等をされている先生方80名が参加されました。

アンケート結果からみますと、この研修会で、ほとんどの参加者が参考になったとご回答いただき、大変充実した研修会となりました。参加者からは「豊かな経験をお持ちの先生方のお話を聞かせていただき大変ためになりました。心にとどめて2学期に子どもたちと向き合いたいと思います」「もっとこのような機会を増やしてほしいです」「前回に引き続き参加させていただきましたが、とても参考になりました。次回もぜひ参加したいと思います」「先生がとても熱心に指導してくださり、とても参考になりました。毎回参加する度に教員になりたいと感じます(学生)」等の感想が寄せられました。なお、3回目を12月5日(土)に予定しております。



## ■ 「第21回教育フォーラム」～これからのキャリア教育を考える～のご報告

山梨大学教育人間科学部第21回教育フォーラムが8月1日（土）午後1時からJ号館A会議室にて開催されました。参加者は60名。名取一好氏（国立教育政策研究所総括研究官）に基調講演を、また、小石川正文氏（山梨県教育庁高校教育課指導主事）は山梨県教育委員会の立場から、利根川武郎氏（山梨県立韮崎工業高校教諭）は現場実践の立場から、小笠原裕二氏（株式会社山梨中央銀行人材開発課課長）は企業人の立場から、それぞれ（「これからのキャリア教育を考える」）をテーマにご講演をしていただきました。キャリア教育の現状や動向や課題等を提示していただく中で、熱心な意見交換がなされ大変有意義な会となりました。なお、運営・諸準備には、本学教育人間科学部実践教育運営委員会（齊藤康彦委員長）があたりました。



## ■ 平成21年度若手教員研修のご報告

今年度の若手教員研修は8月7日（金）午後、本学附属教育実践総合センター所属の雨宮亘客員教授の「子どもとどう向き合うか」を基調講演とし、小学校教育、中学校教育・高等学校教育、特別支援教育の分科会ごと、4名の現職教員をグループアドバイザーとして研修を深めました。当日は基調講演、分科会を含めて25名の若手教員が参加しました。

アンケート結果をみますと、講演会やグループディスカッションでは「参考になった」と多くの参加者が回答されていました。いずれも実りある研修会となったことが伺えました。

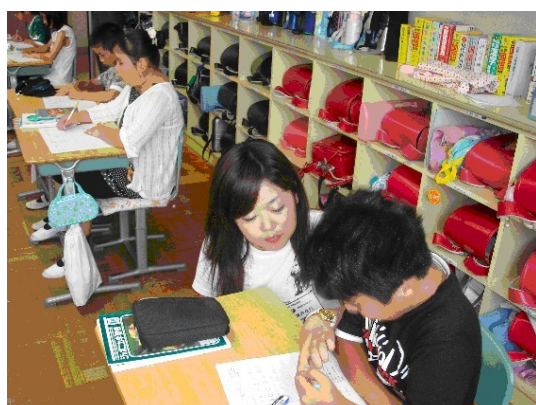
参加者からは「現場の先生の苦労や喜びの話を聞き、同じ職種でも全然違う児童生徒の実態を知り、共感や新しい知識として勉強することができました。とても心に響く話を聞けました」「雨宮先生の講演やその後の分科会では具体的な実践のお話を聞くことができ、夏休み明けからがんばろうとあらため

て感じました」「午後の分科会では、先生方との距離も短く感じられ、大変参考になりました」「毎回、研修会を楽しみにしています」等の感想が寄せられました。



## ■ 教育ボランティア（社会参加実習）活動状況のご報告

今、県内の各地で150名を超える梨大生の皆さんが教育ボランティア活動に頑張っています。このボランティア活動を通じて、学生の皆さんが、教育実習とは違った観点から学びを深めています。後期も、10月7日（水）、8日（木）にボランティアガイダンスの開催を予定しています。



《受け入れ先の先生方の声》

明生学園 松野友香 様

大勢の学生さんの御協力をいただき、教育ボランティアを受けられる子供が増えました。それぞれが活動を楽しみにしています。本当にありがとうございます。児童養護施設という場所、そこで生活している子供たちの様子を知っていただけるだけでも意味のあることだと思っています。いろいろなタイプの子供たちがいるので、それぞれ難しく感じることも異なると思います。子供たちのことを共通の話題として、学生さんたちと明生学園職員とで協力して活動を進めていきたいと考えております。今後とも、よろしくお願いいたします。

舞鶴小学校 小林 泉 先生

積極的に子どもと関わろうとする学生が多く、大変助かっています。理解に時間のかかる子どもに寄り添いながら、ていねいに指導していただいています。授業後が終わった後、休み時間に子どもと一緒に遊んでいってくれる学生もいます。学生の来校を心待ちにしている子どもが多くいます。わかりやすく教えてくれたり、遊んでくれたりするので、子どもたちも喜んでいきます。本校では、この制度を大変ありがたいと感じています。ぜひ、一年間続けていただけるよう希望します。

### 《学生の皆さんの声》

- ・勉強の面だけでなく必要な存在になれたことがとても嬉しい。…子どもにパワーをもらうことができ、本当に自分も成長でき、相手も成長できる良い経験になっています。
- ・毎回1つは何かを学んで帰ってこられるように、自ら積極的に活動して、現場に参加させてもらうようにしています。
- ・自分が教育実習でしたところと同じ範囲の先生の授業を見ることができ、とても勉強になりました。教師になりたいという思いをずっともって活動できるようにしていきたいです。
- ・子どもたちなりの意見や考え方、つまりきなどたくさんのことを子どもたちから教えてもらえるよう、多く関わっていきたいです。
- ・多くの学級を見せていただき、自分の教育観を固められます。どうしたら子どもが「分かる」のか、深めていきたいと思います。

## ■ 特別支援教育基礎研修のご報告

21年度の特別支援教育基礎研修を本学教育人間科学部附属特別支援学校との共催で8月7日(金)午前中に開催しました。本学障害児教育講座教授の鳥海順子氏より「山梨県の特別支援教育について」と題してご講義いただいたのち、国立病院機構甲府病院小児科の中村幸介氏を講師にお招きし、「発達障害の診断と教育現場への応用」について、ユーモアを交えつつご講演いただきました。教員・県PTA協議会関係者を中心に72名の参加があり、特別支援教育の現状理解と教育実践上の子ども理解に欠かせない多くの視点を学ぶことが出来ました。受講生からは、「とてもわかりやすいすばらしい講演でした。」「教育の観点からのお話が聴けてよかったです。」など多くの感想を寄せていただきました。昨年引き続き発達障害についての研修ですが、教育現場での本テーマの重要性が窺われた研修となりました。

## ■ 夏季休業中の教員研修等への協力について

教育実践総合センターは、期間採用者等研修、若手教員研修会、特別支援教育基礎研修、教育臨床研究会等のセンター主催の教員研修等を開催しており、教員免許状更新講習の講師も務めておりますが、学外の以下の研修にも協力しました。

- 7月11日 教員免許状更新講習講師。演題「統計的な見方・考え方」。参加者：免許更新年度小・中・高校等教員33名(成田)。
- 7月18日 教員免許状更新講習講師。演題「教育の最新事情」。参加者：80名(石川)。
- 7月18日 教員免許状更新講習講師。演題「教育の最新事情」。参加者：80名(谷口)。
- 7月23日 山梨大学教育委員会 十年経験者研修「やる気を育てる心理学」参加者：42名(谷口)。
- 7月29日 東京都訪問教育担当教員(教科教育部門)研修会講師。参加者：35名(谷口)。
- 7月31日 山梨県総合教育センター教員研修 高等学校数学科授業改善研修会において講演。演題：学習指導要領改訂と統計教育カリキュラム・教材の動向。参加者：9名(成田)。
- 8月7日 松下教育研究財団第33回実践研究助成成果発表会において主に中学校におけるメディアを活用した教育実践研究に関して指導助言。ホテルラングウッド(東京都荒川区)にて(成田)。
- 8月10日 第1回病弱教育実践事例検討会 主催 参加者：35名(谷口)。
- 8月12日 山梨県総合教育センター 小中・情報教育担当者研修会(情報モラル研修会)。演題：「情報モラル」の指導の在り方について。参加者：県内小中学校教諭20名(成田)。
- 8月18日 ~21日 学校図書館司書教諭講習「学校図書館メディアの構成」。参加者：40名(成田・角田)。
- 8月23日 教員免許状更新講習講師。演題「教育の最新事情」。参加者：68名(角田)。

## ■ 「教師相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談に教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室（J号館4F 実践センター事務室）にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。（なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。）教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品を貸し出します。借りる際には使用ノートにご記入をお願いします。

## ■ 「教育相談」報告書に関するお願い

報告用紙は、教育人間科学部総務グループに入って左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

---

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見るすることができます。